

はじめに	1
第1節 本報告書の構成（渡辺委員）	1
第2節 天明3年噴火と災害の概要（安井委員）	1
第3節 天明3年前後の時代状況（渡辺委員）	3
第1章 天明3年浅間山噴火の経過と災害	6
第1節 浅間山の形成史と天明3年噴火（安井委員）	6
第2節 古記録と噴出物に記録された天明3年噴火（安井委員）	8
1 古記録に記録された噴火現象とその時間変化	9
(1) 火砕物降下に関する記述の時間変化	9
(2) 絵図に描かれたプリニー式噴火	15
(3) 火砕物降下以外の現象に関する古記録	16
2 火山噴出物に記録された噴火現象	18
(1) 天明3年噴火の降下火砕堆積物	18
(2) 天明3年噴火による火砕丘形成	21
(3) 天明3年噴火の火砕流堆積物	22
(4) 天明3年噴火の溶岩流	23
(5) 鎌原火砕流／岩屑なだれと天明泥流の堆積物	25
(6) 天明3年噴火の噴出物の形成順序	27
第3節 天明3年噴火の経過と現象の火山学的考察（安井委員）	29
1 堆積物と古記録の対応	29
2 噴火の経過と現象の火山学的考察	32
第4節 天明3年噴火の物的被害（安井委員）	35
第5節 まとめ（安井委員）	36
コラム1 天明3年前後の気候（三上）	39

第2章 よみがえった「天明3年」 43

第1節 天明噴火の被害と発掘調査（関委員）	43
第2節 よみがえった鎌原村（松島）	45
1 埋没村落「鎌原村」	45
(1) 戸数	45
(2) 人口	45
(3) 性格	45
2 鎌原村の発掘	46
3 発掘調査の結果	47
(1) 観音堂の石段について	47
(2) 十日ノ窪の埋没家屋について	48
(3) 延命寺跡について	49
4 発掘調査の意義	51
(1) 不確かな伝承	51
(2) 花開く草莽の文化	51
5 復興への歩み	52
第3節 吾妻川沿岸の遺跡（関委員）	53
1 小林家屋敷跡（坪井村助右衛門屋敷）	53
2 ハッ場地域の調査	54
(1) 新暦7月27日～29日降下の軽石と耕作痕	54
(2) 新暦6月26日に降下した火山灰	56
(3) 畑に残されていた作物の痕跡	58
(4) 抽出された220年前の農業形態—確認された「ツカ」—	60
(5) 天明泥流流下の痕跡	64
3 甲波宿祢神社跡	65
第4節 利根川合流以降の遺跡（関委員）	67
1 中村遺跡	67
2 上福島中町遺跡	68
3 福島曲戸遺跡	70
4 宮柴前遺跡	71

第5節 軽石の被害を受けた地域（関委員）	72
1 残された灰塚	72
2 天引向原遺跡	73
第6節 天明泥流被災範囲をたどる（関委員）	74
1 吾妻川流域の被災範囲図	74
(1) 到達境界線	74
(2) 到達範囲図からわかること	74
第7節 史料による天明泥流流下とその確認（関委員）	77
1 吾妻川での流下	77
2 利根川合流点までの「逆流」現象	80
3 合流点から八丁川原までの利根川の流下	81
4 利根川下流域に向かう流下	83
第8節 まとめ（関委員）	84
コラム2 日本のポンペイ（浅間とヴェスヴィオ）（関委員）	86
コラム3 2004年の噴火で確認した天明3年のこと（関委員）	89
コラム4 天明泥流の流れ（小菅）	91
コラム5 天明泥流の土砂と水（小菅）	98

第3章 復興への努力と災害の記憶 105

第1節 噴火の記録と復興への努力（渡辺委員）	105
1 噴火を記録する	105
(1) 上野国高崎周辺の様子	105
(2) 信濃国軽井沢宿の様子	106
(3) 江戸の様子	107
2 各地の被害状況	108
3 復興に努める村人たち	111
(1) 鎌原村の復興努力	111

(2) 芦生田村の復興努力.....	117
(3) 小括.....	121
(4) 下磯部村の復興努力.....	122
4 まとめ.....	126
第2節 噴火被害と復興－幕府普請役の仕事と熊本細川家御手伝普請－（北原委員）	128
はじめに.....	128
1 天明噴火と利根川洪水	129
(1) 災害復旧の川普請.....	129
(2) 熊本藩細川家の手伝普請一覧.....	131
2 天明噴火のお救い普請	133
(1) 幕府普請役人の普請体制.....	133
(2) 現場に赴く第一陣－7月～8月段階.....	136
(3) 根岸九郎左衛門一行の現地入り－8月末日～9月.....	137
(4) 百姓一揆から逃れる普請役人－10月.....	143
(5) 普請の開始－11月.....	145
(6) 普請「九分通り出来」－天明4年正月～閏正月.....	147
(7) 災害復旧工事の終了.....	148
(8) まとめに換えて.....	152
第3節 災害の記録と記憶（大浦委員）	154
1 絵図にみる災害の記録	154
(1) 描かれた内容.....	154
(2) 絵図の表現と意図.....	155
(3) 伝播の記録.....	161
2 石造物にみる災害の記憶	161
(1) 造立された石造物.....	161
(2) 石造物と供養祭.....	164
(3) 変容する記憶.....	169
コラム6 浅間山と災害（荒牧委員）	181
<hr/>	
おわりに～天明浅間山噴火の教訓～（全委員、事務局）	183
第1節 火山噴火に伴う災害	183
1 降下火砕物	183

2	鎌原火砕流／岩屑なだれと泥流被害	183
(1)	ケース1 水蒸気爆発などによる融雪型火山泥流	183
(2)	ケース2 岩屑なだれや火砕流が水系に突入して発生する火山泥流	183
第2節	復興対策	184
1	被災地全域に目配りした統一的復興策の必要性	184
2	地域主導の再建と自助，共助，公助の連携の必要性	184
第3節	被災の記憶の継承	185
1	各種記録メディアの重要性	185
2	記念行事の挙行と災害教訓の継承	185
資料編		186
	参考文献一覧	186